

第 11 回学校関係者評価委員会 議事録

開催日時：令和 6 年 3 月 27 日（水）15：00～

場所：下関福祉専門学校 3 階

出席者：河田 勝志（一般社団法人 山口県介護福祉士会 理事）（下関ブロック長富田陽治様代理）

杉本 裕治（社会福祉法人 やまばと会員光園 総務部長）

田尾 眞（小月商工振興会 顧問（元会長））

小西 勇也（下関福祉専門学校 同窓会副会長）

関谷 豊（下関福祉専門学校 校長）

田中 満由美（下関福祉専門学校 教務部長）

藤岡 恵子（下関福祉専門学校 教務主任）

長本 幸子（下関福祉専門学校 専任教員）

安田富美代（下関福祉専門学校 専任教員）

木村 薫（下関福祉専門学校 事務局） * 以上敬称略

議事 1 学校自己評価報告

議事 2 学校関係者評価実施

議事 3 その他

§ 1 学校自己評価報告

国家試験免除の対象者は 2025 年入学者までであるが、全国的に養成校の入学者の確保が難しい中、令和 6 年度の新入生は、定員の約 70%の入学者を得ることができた。今後も AO 入試を充実させ学生確保の手段として行っていくことが求められると考える。また、訓練生についても周りに介護職の希望の方がおられれば周知をしていかなければならないと考える。留学生については、ミャンマーの留学生を今年度受け入れているが、大変成績が良く日本語検定も N1 取得者が多いことから、今後の期待ができると考える。よってミャンマーの留学生を積極的に受け入れ定員の充足を図っていきたい。

§ 2 各委員による学校評価実施

各自提示された資料をもとに、学校評価票に記入される。

次回は令和 6 年 3 月に開催予定

2023年度下関福祉専門学校学校評価

1

1. 学校の教育目標

専門的知識と技術の習得に加え、豊かな感性とやさしい心を持って福祉社会に貢献出来る人材を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

福祉業界で抱えている課題である介護の人材・育成のため、学生・訓練生を確保する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1

イ	・学校における職業教育の特色は、明確になっているか	4 3 2 1
---	---------------------------	---------

ウ	・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
---	-------------------------------	---------

エ	・学生・保護者に対して教育理念等明文化し、周知しているか	4 3 2 1
---	------------------------------	---------

オ	・教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	4 3 2 1
---	--------------------------------	---------

(2) 学校運営

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1

イ	・運営方針に沿った事業計画が策定し、共有しているか	4 3 2 1
---	---------------------------	---------

ウ	・運営組織や意思決定機能は明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
---	-----------------------------------	---------

工	・運営会議(教職員会議、教員会議等)が定期的に行われているか	4	3	2	1
---	--------------------------------	---	---	---	---

オ	・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
---	---------------------------------	---	---	---	---

カ	・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
---	----------------------------------	---	---	---	---

キ	・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
---	---------------------------	---	---	---	---

ク	・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1
---	----------------------------	---	---	---	---

(3)教育活動

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
ア	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1

イ	・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
---	--	---	---	---	---

ウ	・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
---	--------------------------	---	---	---	---

エ	・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・ 開発などが実施されているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---

教育編成委員会や実習指導者会議を開催し、会議での提言、要望を踏まえ見直しを行っている。しかし、今年度コミュニケーション不足を補うための特別授業をご提案があったが、諸々の都合により開催することができなかった。次年度には実施したいと考える。

オ	・関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---

カ	・関連分野における実践的な職業教育(実技・実習等)が体系的に位置づけられて いるか	4	3	2	1
---	--	---	---	---	---

キ	・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
---	-------------------	---	---	---	---

ク	・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
---	------------------------------	---	---	---	---

ケ	・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
---	---------------------------------	---	---	---	---

コ	・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
---	---------------------------------------	---	---	---	---

サ	・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
---	--	---	---	---	---

シ	・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---

ス	・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
---	--	---	---	---	---

セ	・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
---	-------------------------	---	---	---	---

(4) 学修成果

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
ア	・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1

イ	・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
---	-------------------	---	---	---	---

卒業が介護福祉士の資格取得の条件であるため、学業不振者には積極的な指導を行っている。
しかし、国家試験の義務化が2026年より制定されるため、国家試験の個別補講が必要となってくるが、現在ケーススタディの発表が2月としており、学生の中にはそちらに集中し、試験対策ができていない者や留学生の受験によって国試合格率が

ウ	・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
---	-----------------	---	---	---	---

エ	・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
---	-----------------------------	---	---	---	---

卒業生交流として、卒業後5年を経過した卒業生に講演を依頼している。また、実習先などや同窓会において卒業生の活躍等を把握するが、全員までの把握には至らない。

(5) 学生支援

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
ア	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1

イ	・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
---	----------------------	---	---	---	---

変化に気づいたときは、声掛けや面談を行っており、臨床心理士による面談も週に1回開放しているが、相談したいときに随時できる環境でないため十分とはいえない

ウ	・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
---	--------------------------	---	---	---	---

エ	・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
---	---------------------	---	---	---	---

1年に1回健康診断を行っているが、休息室の確保が難しく気分不良の訴え時には、実習室の一部を利用し安静臥床の場所としている。但し、専用の休養室でないため授業等で使用中している場合は、利用ができない。しかし、養成施設として看護師が専任教員となっているため、健康管理を行いやすい環境となっている。

オ	・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
---	------------------------	---	---	---	---

カ	・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
---	----------------------	---	---	---	---

従前は、学生寮を提供していたが、自宅からの通学者が多く、一人暮らしをする学生が年に2～3人と少ないため学生寮は廃止している。しかし、学校近くのリーズナブルなアパート等を斡旋している。

キ	・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
---	-----------------	---	---	---	---

学年末に成績表の配布をしている。また、学生に対して変化や成績不振など学校生活に問題があれば、随時保護者に連絡する。必要に応じて保護者との面談や相談を行い、早期の問題解決を行うようにしている。しかし、勤務の都合上連絡が取りづらい保護者もあり、教員側も休日や深夜の再三の連絡で繋がることもあり、時間がかかる場合が往々にしてある。留学生に対しては、施設や業者に報告や連絡を行い連携を図っている。

ク	・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
---	----------------	---	---	---	---

ケ	・社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
---	------------------------------	---	---	---	---

コ	・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1
---	---	---	---	---	---

(6)教育環境

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
ア	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1

施設・設備も26年経過し老朽化がみられるが、随時必要に応じて整備している。しかし、予算もある都合上、優先順位をつけ毎年行っている。

イ	・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1
---	--------------------	---	---	---	---

(7) 学生の受入れ募集

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
ア	・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1

イ	・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
---	------------------------------	---	---	---	---

ウ	・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1
---	-------------------	---	---	---	---

(8) 財務

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
ア	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1

学生入学者数の変動が著しく、留学生受け入れに変化が見られ学生確保が未定であるため安定とは言えない。

イ	・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
---	---------------------------	---	---	---	---

ウ	・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
---	------------------------	---	---	---	---

エ	・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1
---	---------------------	---	---	---	---

(9) 法令等の遵守

評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
ア	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1

イ	・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
---	-----------------------------	---	---	---	---

ウ	・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
---	------------------------	---	---	---	---

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1

今年度より学校行事である海峡祭が再開したが、感染対策として保護者、家族のみの参加としたため、地域の方々の参加を見送ったことや、地域に参加できる行事が少なく地域貢献・社会貢献の機会をもつことができなかった。

イ	・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
---	-------------------------	---------

ボランティア活動の要請があれば積極的に参加を希望する学生はいるが、現在要請自体がないため活動の機会がない。しかし1年生、2年生とも通学路を含む学校周辺の清掃活動を各学年2回行った。

ウ	・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1
---	--	---------

ハローワークの教育訓練として6か月の実務者研修を受託している。公開講座等は要請があれば受託を検討するが、その要請がないため実施していない。

(11) 国際交流(必要に応じて)

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
ア	・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1

イ	・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
---	---------------------------------------	---------

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度、学生数確保のため、AO入試を初めて導入した。その結果来年度の入学者数は約20名超えとなる見込みとなり、目標である学生数の確保に貢献できたと考えられる。次年度以降もAO入試を採用し、課題である学生数の確保を行っていく。また、高校でのガイダンスや進学フェアの体験授業でより多くの生徒に興味を持ってもらい、介護の魅力を発信していかなければならないと考える。

昨年コロナウイルス感染が5類になったことで、実習先の確保が以前に比べ安易になった。しかし、今まで1~2の訪問介護事業所において若干の男子の受け入れをしていただいていたが、今年度は皆無であった。今後の訪問同行実習について可否も含め検討していかなければならないと考える。